

平成31年5月期・第1四半期連結決算の概要

I. 平成31年5月期・第1四半期連結累計期間の概況について

医薬品業界におきましては、平成29年6月閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」では「2020年9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する」と明記され、ジェネリック医薬品の使用に対する国の政策面での後押しが期待されておりますが、医薬品の適正使用や、AG(オーソライズドジェネリック)が大型品目を中心に販売されたことから競争が激化しております。さらに、平成30年4月より平成30年度診療報酬の改訂が実施されており、薬価への影響は薬剤費ベースでマイナス7.48%と、国内での医薬品業界の事業環境は厳しいものとなっております。また平成30年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」(いわゆる骨太方針2018)においても薬価引き下げなどによる薬剤費抑制の方針が示され、今後、医薬品市場は販売価格下落により厳しい状況となると予想され、当社としても一層の経営効率化への努力が求められております。

当社グループにおける原薬につきましては、血圧降下剤原薬及び消炎鎮痛剤原薬等の一部のジェネリック医薬品向け原薬の販売は堅調に推移しておりますが、全体的に医療現場での薬剤使用の適正化の影響と大型品目を中心としたAG(オーソライズドジェネリック)の登場により厳しい状況で推移いたしました。

製剤につきましては、医療用医薬品における新薬や長期収載品の製造受託の販売が減少となりましたが、自社開発ジェネリック医薬品及び一般用医薬品の販売増加があり堅調に推移いたしました。

健康食品他につきましては、新商品の販売等により、堅調に推移いたしました。

II. 連結損益の状況(累計)

① 損益実績

(百万円)

	平成30年5月期・第1Q		平成31年5月期・第1Q		対前期比較		平成31年5月期 計画		進捗率
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%	金額	%	
売上高	9,681	100.0%	9,739	100.0%	+58	+0.6%	40,800	100.0%	23.9%
売上原価	7,708	79.6%	7,659	78.6%	△49	△0.6%			
売上総利益	1,973	20.4%	2,080	21.4%	+107	+5.4%			
販管費	1,041	10.8%	986	10.1%	△55	△5.3%			
営業利益	932	9.6%	1,093	11.2%	+161	+17.4%	4,300	10.5%	25.4%
営業外収益	49	0.5%	57	0.6%	+8	+16.3%			
営業外費用	8	0.1%	9	0.1%	+1	+12.5%			
経常利益	973	10.1%	1,141	11.7%	+168	+17.2%	4,350	10.7%	26.2%
特別利益	20	0.2%	-	-	-	-			
特別損失	0	0.0%	-	-	-	-			
税引前利益	993	10.3%	1,141	11.7%	+148	+14.9%			
親会社株主に帰属する四半期純利益	673	7.0%	779	8.0%	+106	+15.8%	3,100	7.6%	25.1%

* 連結子会社数 3社 (大和薬品工業(株)、Daito Pharmaceuticals America, Inc.、大桐製薬(中国)有限責任公司)

* 返品調整引当金繰入額及び戻入額は、売上原価に含めております。

② 品目別売上高

(百万円)

	平成30年5月期・第1Q		平成31年5月期・第1Q		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原薬	5,431	56.1%	5,341	54.8%	△90	△1.6%
製剤	4,182	43.2%	4,323	44.4%	+141	+3.4%
健康食品他	67	0.7%	74	0.8%	+7	+9.9%
合計	9,681	100.0%	9,739	100.0%	+58	+0.6%

III. 設備投資の状況(累計)

(百万円)

	平成30年5月期・第1Q	平成31年5月期・第1Q	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産の投資額(発生ベース)	342	416	+74
無形固定資産の投資額()	3	3	0
合計	345	419	+74

主な設備投資の内訳

(百万円)

設備内容	金額	備考
・ 包装製造設備等	85	ダイト 製剤包装ラインの品目多様化改造
・ 高薬理製剤製造設備	59	ダイト 高薬理製剤棟の新設

決算発表・補足説明資料 (2/2)

平成30年10月11日
 ダイト株式会社
 (証券コード4577)

IV. 減価償却費の状況 (累計) (百万円)

	平成30年5月期・第1Q	平成31年5月期・第1Q	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産	670	627	△43
無形固定資産等	11	14	+3
合計	682	641	△41

V. 研究開発費の状況 (累計) (百万円)

	平成30年5月期・第1Q	平成31年5月期・第1Q	対前期比
	金額	金額	増減額
研究開発費	409	389	△20

平成31年5月期・通期連結決算の予想

平成31年5月期の通期連結業績予想につきましては、平成30年7月13日に公表いたしました予想数値を修正しておりません。

I. 連結損益の予想 (百万円)

	平成30年5月期 通期		平成31年5月期 通期予想		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
売上高	39,875	100.0%	40,800	100.0%	+925	+2.3%
営業利益	4,161	10.4%	4,300	10.5%	+139	+3.3%
経常利益	4,244	10.6%	4,350	10.7%	+106	+2.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,041	7.6%	3,100	7.6%	+59	+1.9%

II. 品目別売上高 (百万円)

	平成30年5月期 通期		平成31年5月期 通期予想		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原薬	20,848	52.3%	21,400	52.5%	+552	+2.6%
製剤	18,705	46.9%	19,100	46.8%	+395	+2.1%
健康食品他	320	0.8%	300	0.7%	△20	△6.3%
合計	39,875	100.0%	40,800	100.0%	+925	+2.3%

III. 設備投資の状況 (百万円)

	平成30年5月期	平成31年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産の投資額 (発生ベース)	3,603	4,000	+397
無形固定資産の投資額 (")	51	50	△1
合計	3,655	4,050	+395

主な設備投資の内訳

(百万円)

設備内容	金額	備考
・ 高薬理R&Dセンター内に試験設備を増設	400	ダイト 高薬理試験設備の増強
・ 包装製造設備等	900	ダイト 製剤包装ラインの品目多様化改造
・ 第八製剤棟の建設	1,400	ダイト 高薬理製剤棟の新設 (総投資額 3,500百万円)

IV. 減価償却費の状況 (百万円)

	平成30年5月期	平成31年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産	2,803	2,913	+110
無形固定資産等	49	47	△2
合計	2,853	2,960	+107

以上